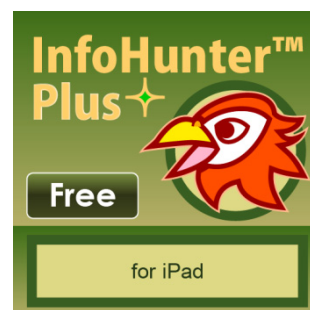
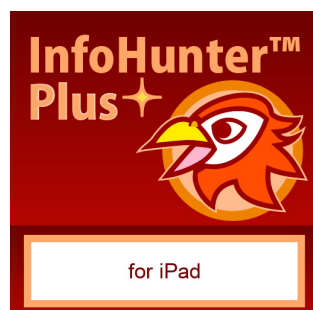


InfoHunter™ Plus

取扱説明書



改定記録		
改訂番号	改定日	内容
Rev.1.0	Aug 2012	初版

- 1.本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
- 2.本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
- 3.本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- 4.本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 5.運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

目次

1. はじめに	6
1.1. 製品の特徴	7
1.2. 対応機種	7
2. ダウンロード / インストールについて	8
2.1. ダウンロード / インストール	9
3. メイン画面	10
3.1. 画面の説明	11
4. 入力画面	12
4.1. 画面の説明 (ソフトウェアキーボード 表示)	13
4.2. 画面の説明 (ソフトウェアキーボード 非表示)	13
5. 設定画面	14
5.1. 画面の説明	15
5.2. メニュー編集	15
5.3. 入力項目詳細設定	16
5.3.1. マスタ情報	17
5.4. メニュー読込	18
5.4.1. 内蔵カメラ	18
5.4.2. HIDキーボード スキャナ	19
5.5. QR表示	19
5.6. マスタ読込	20
5.7. FTP設定	21
6. 収集データ表示画面	22
6.1. 収集データリスト	23
6.2. 収集データ詳細	23
6.3. 入力データ詳細	24
6.4. 収集データ送信	24
7. 各種ファイルフォーマット	26
7.1. 収集データファイルフォーマット	27
7.2. マスタファイルフォーマット	28
7.3. メニューファイルフォーマット	28
7.4. メール送信フォーマット	29

1. はじめに

このたびは、InfoHunter Plus をご利用いただき、誠にありがとうございます。
本書では、InfoHunter Plus の操作・設定方法について説明いたします。

InfoHunter Plus は、フリー版を用意しております。

制限事項は、30 件までの収集、収集したデータの削除が出来ないようになっております。

30 件まで収集してしまった場合は、アプリケーションを一度アンインストールし、再度インストールしてください。

1.1. 製品の特徴

InfoHunter Plus は、手軽で使いやすいモバイルバーコードリーダーと iPhone/iPad/iPod touch を連携させてハンディターミナル並みの業務ソリューションを提供するアプリケーションソフトです。

InfoHunter Plus には以下の機能があります。

- ・コード収集機能
- ・マスタ参照機能
- ・メール送信機能
- ・FTP 送受信機能
- ・収集データ一覧表示
- ・メニューファイル機能

1.2. 対応機種

本体

- ・iPhone3GS/4/4S
- ・iPad/2/第3世代
- ・iPod touch(第4世代以降)
- (*) OS4.2 以上

スキャナ

- ・MODEL iScan
- ・MODEL iBar®BT
- ・MODEL 1170-BTV2
- ・MODEL 1660/1664
- ・MODEL ワイヤレス豆っぴシリーズ (ちっちゃ〜いワイヤレスデータコレクタ)
- ・MODEL 8230/8260

その他、iOS に接続できるバーコードスキャナに関しては、お問合せください。

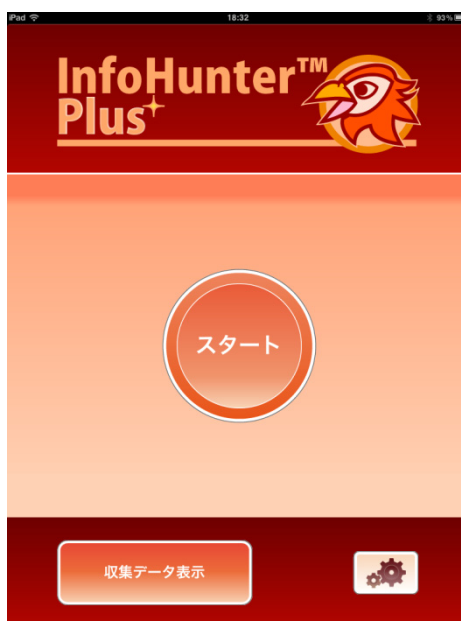
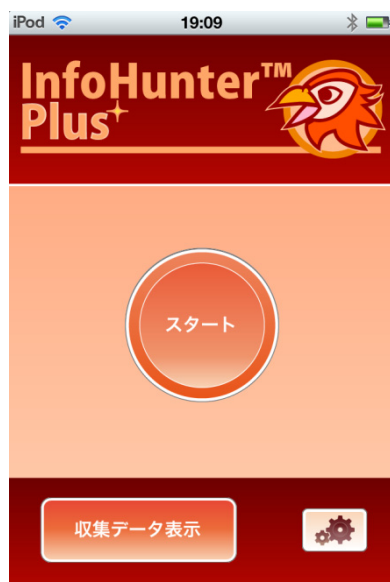
2. ダウンロード / インストールについて

2.1. ダウンロード / インストール

App Store の検索画面から「InfoHunter」で検索することでアプリケーションを検索し、ダウンロード / インストールすることができます。



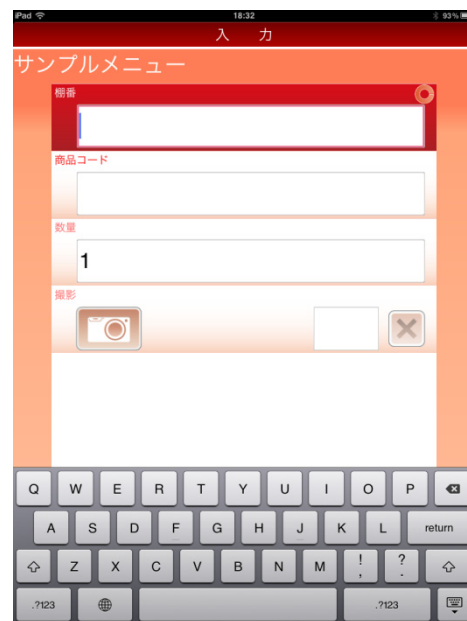
3. メイン画面



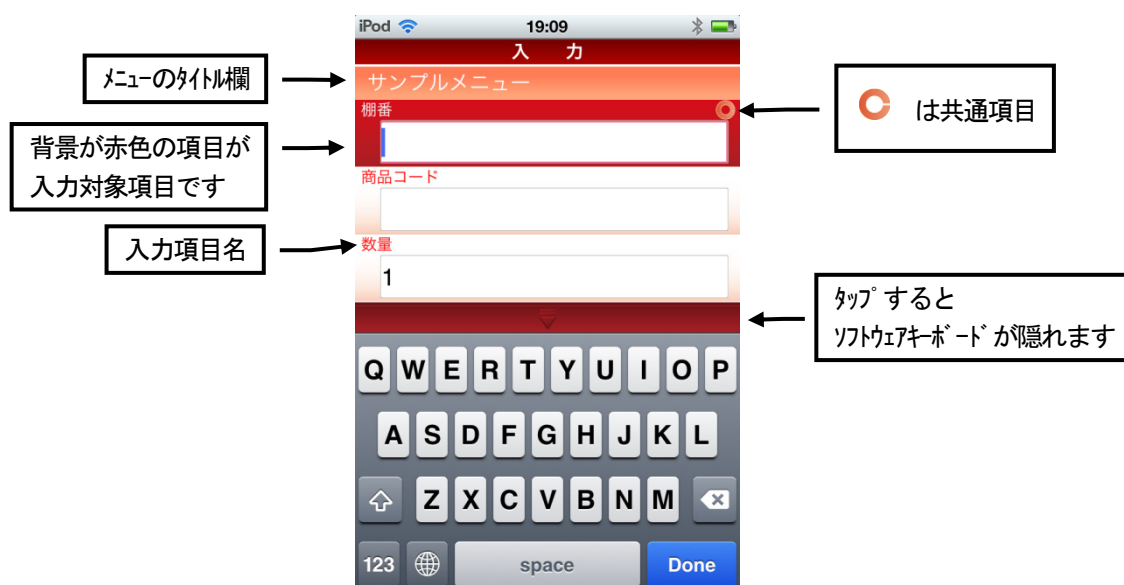
3.1. 画面の説明



4. 入力画面

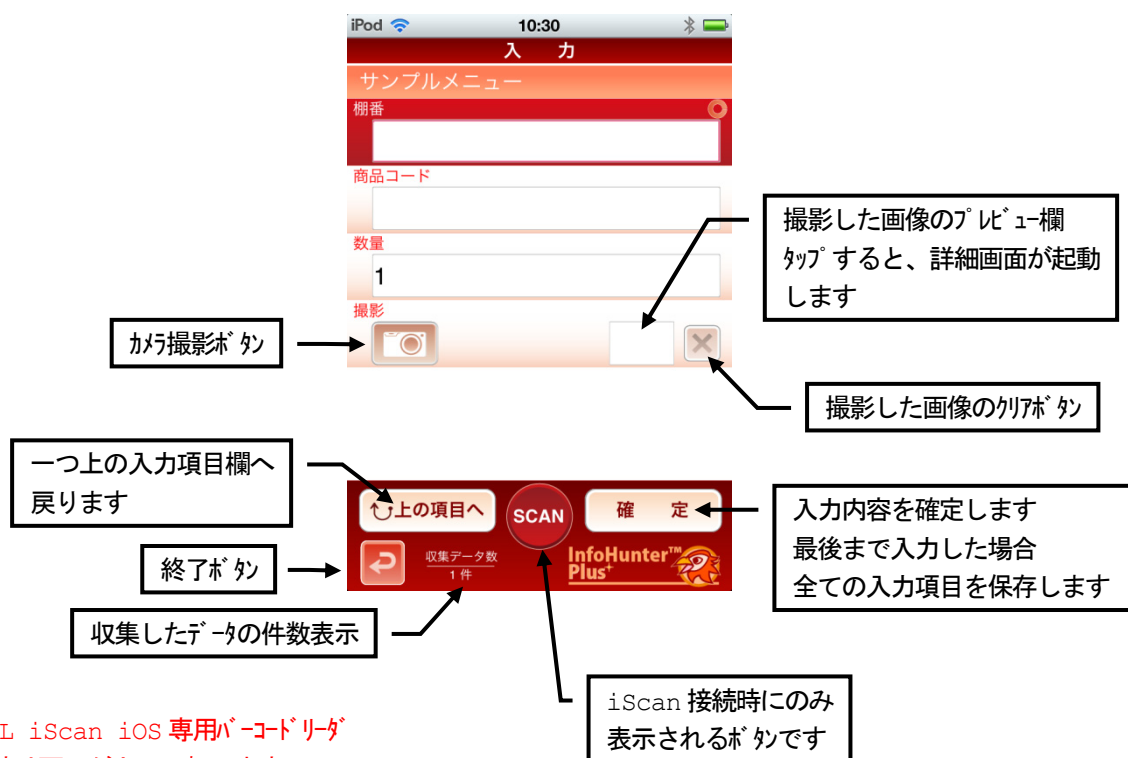


4.1. 画面の説明 (ソフトウェアキーボード 表示)



(*) 入力項目部分はスクロールします。

4.2. 画面の説明 (ソフトウェアキーボード 非表示)



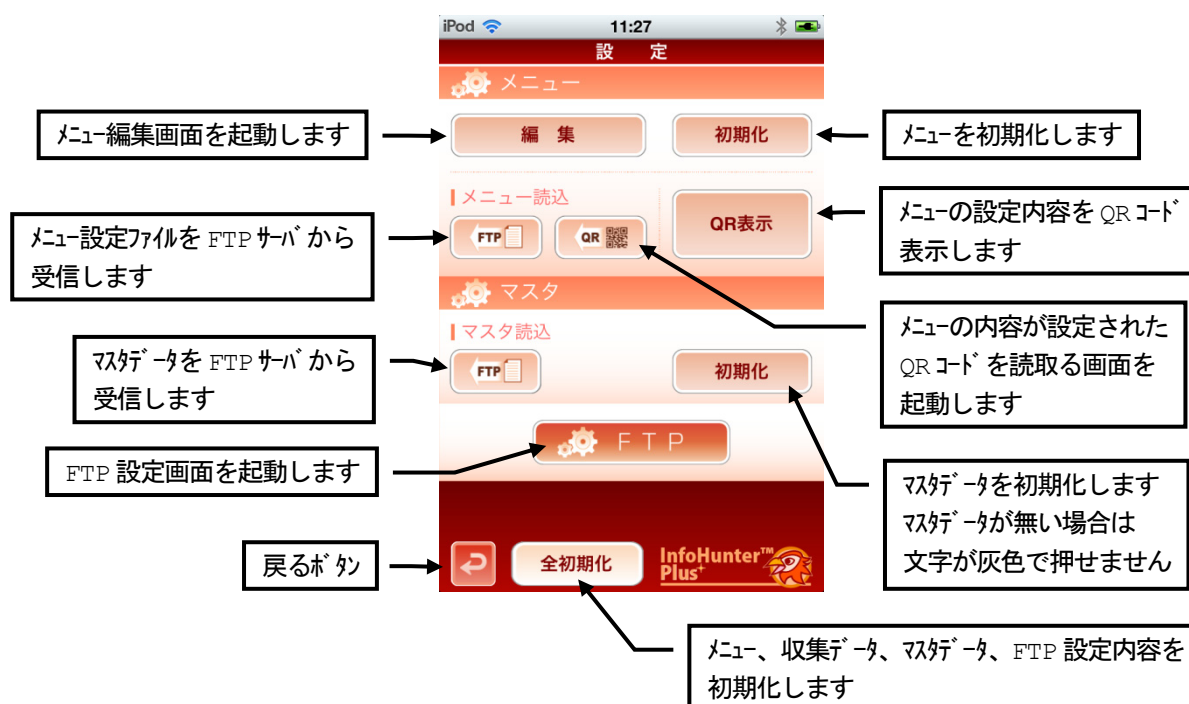
(*) MODEL iScan iOS 専用バーコードリーダー
接続時は画面が上下反転します。



5. 設定画面



5.1. 画面の説明



5.2. メニュー編集



- (1) タイトル
メニューの作業タイトルを設定します。
- (2) 入力項目数
入力項目数を設定します。(1 ~ 10 まで)

(3) 共通項目数

共通項目数を設定します。(0 ~ 9 まで、ただし入力項目数より小さい値)

(4) マスタ情報を付加

マスタ参照を行った場合、マスタデータを収集データに付加します。

(5) 日付を付加

収集データに日付を付加します。(フォーマット : 2012/07/31)

(6) 時間を付加

収集データに時間を付加します。(フォーマット : 12:00:00)

(7) 確定時(メール送信)

入力データを全て入力し、入力画面の確定ボタンを実行したとき、入力データの内容をメールで送信します。(メールが起動します)

(8) プリフィックスデータ機能

この機能を ON にすると、入力データの先頭に @01: を付加した場合、そのデータは入力項目の 1 番目に入力されます。(@01: ~ @10:)

例) 入力項目の 3 番目に@01:ABC123 と入力すると、1 番目の入力項目に ABC123 が設定されます。

5.3. 入力項目詳細設定



(1) 名称

入力項目の名称を設定します。

(2) 種別

文字、数字、カメラを選択します。

(3) 初期値

初期値を設定します。(数量を入力する場合、あらかじめ 1 を入れておくとう便利です)

(4) 入力桁数

入力文字数を 最小 ≤ 最大 で設定します。

(5) 抽出桁数

入力されたデータから指定された部分の文字列を抽出します。(バーコードスキャから入力したデータの一部分を入力したい場合に、設定すると便利です)

指定範囲は (開始位置 + 桁数) ≤ (入力桁数の最小 + 1) で設定します。

(6) マスタ参照

マスタデータが設定されていれば、マスタデータを参照してマスタ情報画面を表示します。

(7) マスタ表示時間

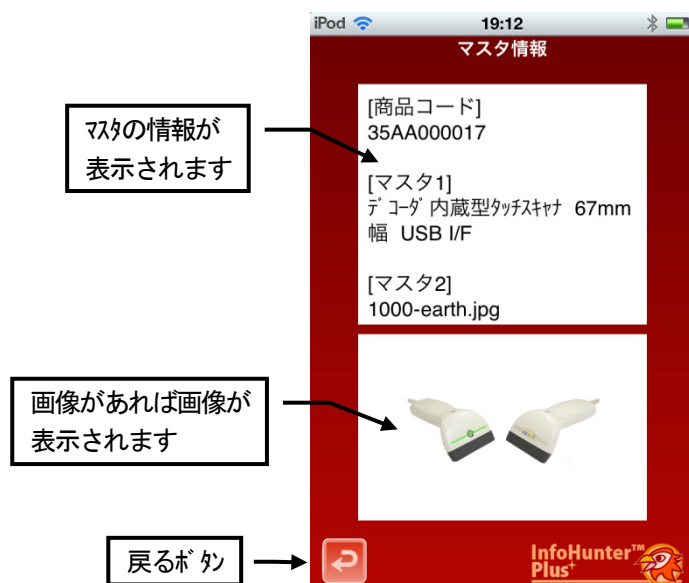
マスタ情報画面を表示している時間を設定します。

-1: マスタ情報を表示しません。

0: 戻るボタンが押されるまで表示し続けます。

1 ~ 99 秒の範囲で指定します。

5.3.1. マスタ情報



マスタ参照を ON に設定した入力項目で、マスタデータと合致するデータを入力した場合、この画面が表示されます。

(*) マスタ表示時間が設定されていても、戻るボタンを押せばいつでも前の画面に戻ります。

5.4. メニュー読込



5.4.1. 内蔵カメラ



QRコードの撮影モードになりますので、QRコードを撮影してください。

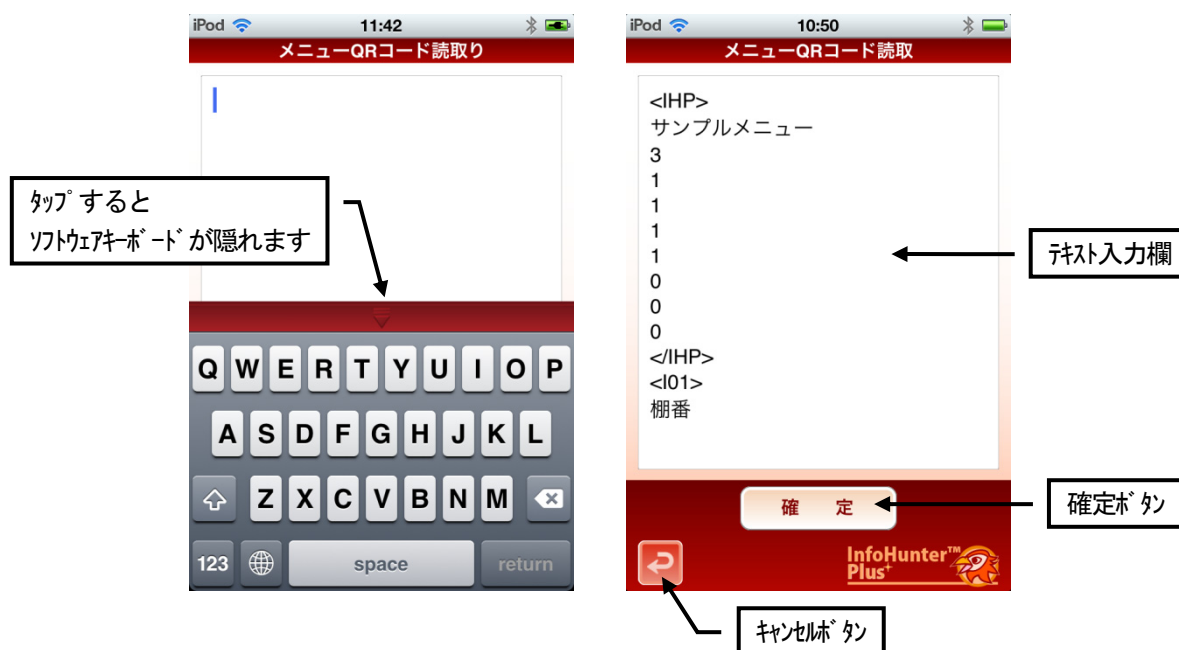
QRコードが正しく認識できると、読取ったデータが表示されます。このデータで良い場合はOKボタンを、取消す場合はキャンセルボタンを押してください。

QRコードは続けて複数回読むことができます。一括で読込めない場合はQRコードを分割したものを読取るようにしてください。

確定ボタンを押すとメニューに反映されます。

(*) 複数回読込んだ場合、最後に読込んだ入力項目のデータが反映されます。

5.4.2. HIDバーコードスキャナ



テキスト入力欄にカーソルを合わせてから、Bluetooth HIDバーコードスキャナでQRコードを読取ってください。

(*) 半角カタカナ、全角文字は正常に表示されません、ソフトウェアキーボードで修正してください。

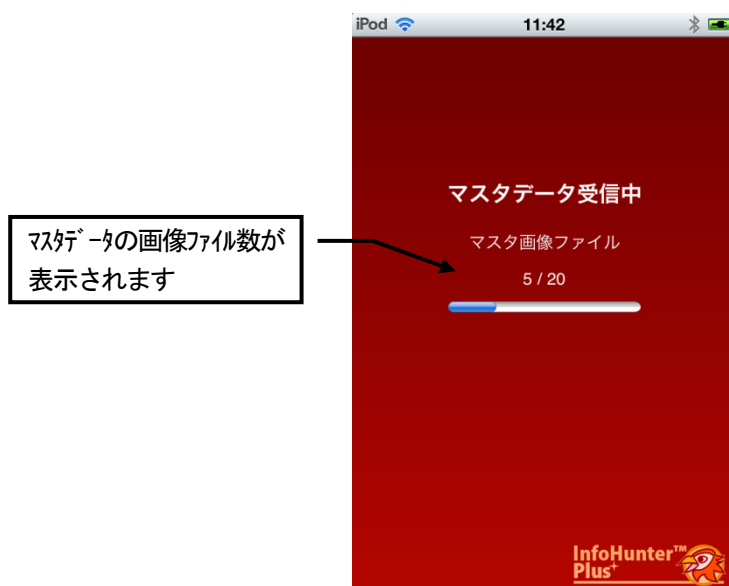
5.5. QR表示



設定されているメニューの内容をQRコードで表示します。

(*) 端末がインターネットに接続されていないと表示されません。

5.6. マスタ読込



マスタデータをFTPサーバから受信します。

マスタデータを受信するには、FTP設定で設定したFTPサーバにマスタデータを正しく設置する必要があります。

(*) マスタデータのフォーマットは「7.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5.7. FTP設定



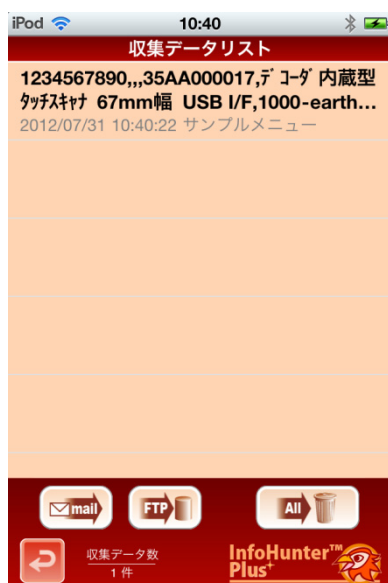
ホスト名(アドレス)、ポート、ユーザ、パスワード、ディレクトリを設定してください。

(*) ここで設定したFTPサーバに対して、収集データの送信やマスタデータの受信、設定ファイルの受信を行います。

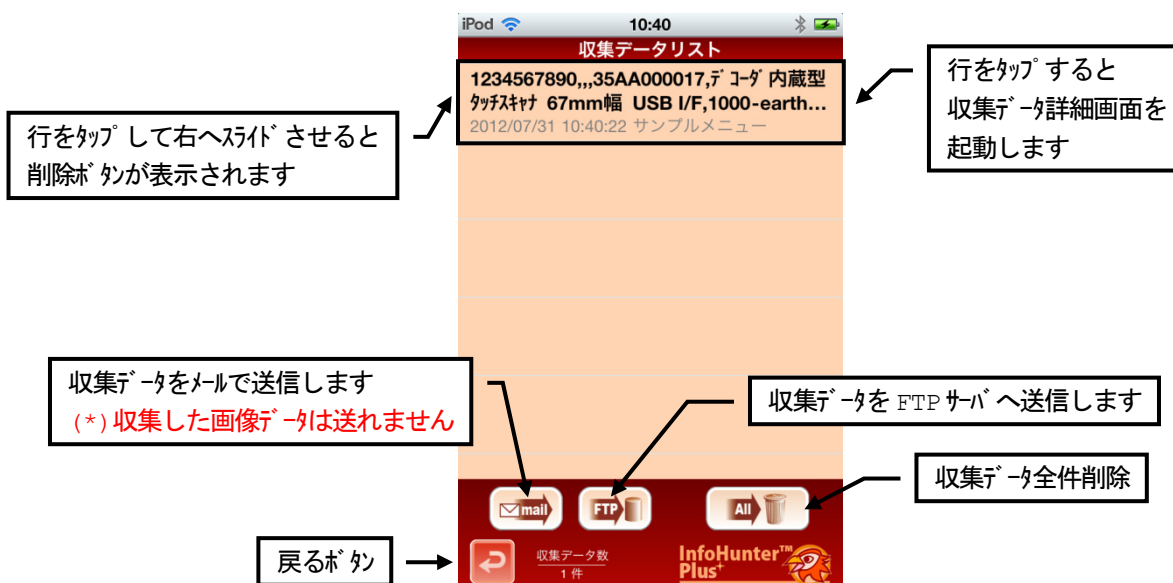
(*) FTPサーバの種類によっては、正常に送受信できない場合があります。

動作確認 FTPサーバ : インターネット インフォメーション サービス Microsoft Corporation バージョン : 5.1

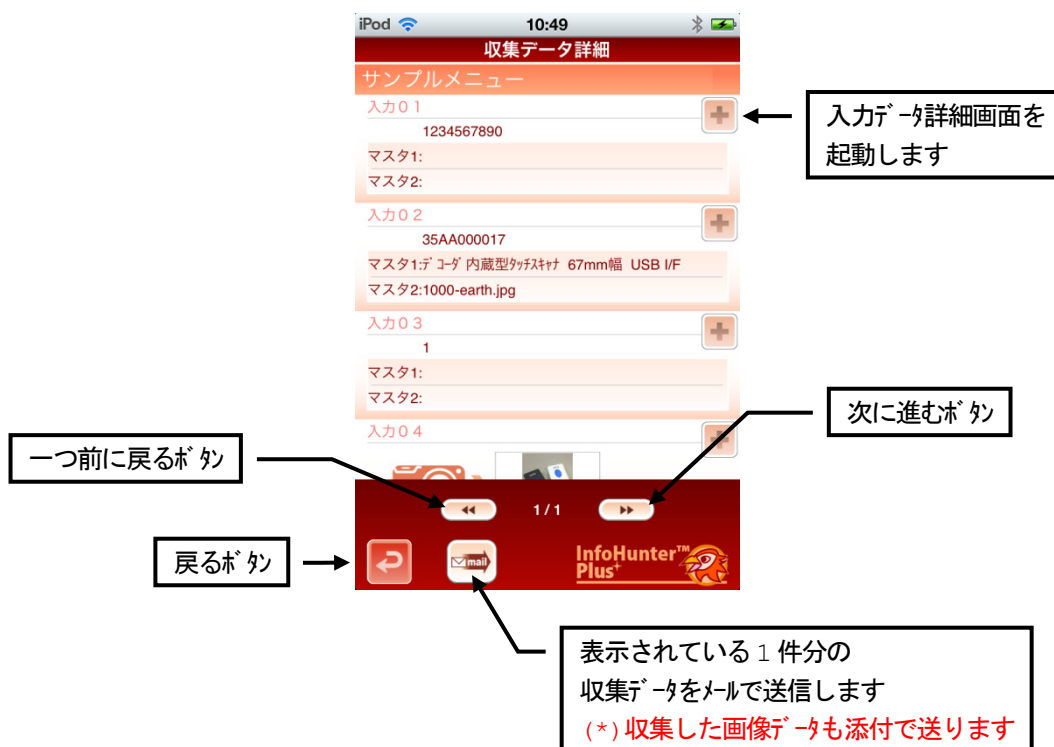
6. 収集データ表示画面



6.1. 収集データリスト



6.2. 収集データ詳細

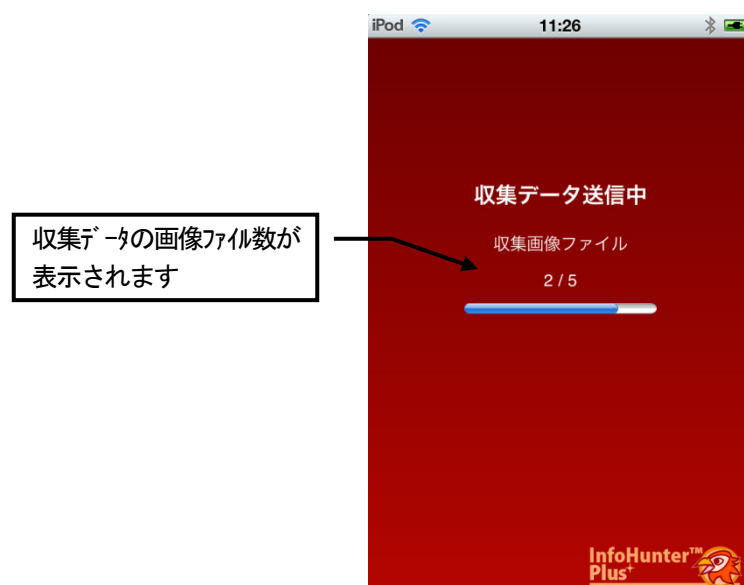


6.3. 入力データ詳細



入力データを表示します。
撮影データの場合は画像だけが表示されます。

6.4. 収集データ送信



収集データをFTPサーバへ送信します。

(*) 収集データのフォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

7. 各種ファイルフォーマット

7.1. 収集データファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_yyyymmddhhmmss.CSV」の CSV フォーマットとなります。(yyyymmdd:年月日、hhmmss:時分秒)

- 1 フィールド : メニュータイトル
- 2 フィールド : 入力項目 1
- 3 フィールド : マスターデータの第 2 フィールド
- 4 フィールド : マスターデータの第 3 フィールド
- 5 フィールド : 入力項目 2
- 6 フィールド : マスターデータの第 2 フィールド
- 7 フィールド : マスターデータの第 3 フィールド
- :
:
- 29 フィールド : 入力項目 10
- 30 フィールド : マスターデータの第 2 フィールド
- 31 フィールド : マスターデータの第 3 フィールド
- 32 フィールド : 日付
- 33 フィールド : 時間

(*) 収集しない項目は空となりますので、CSV フォーマットとしては必ず 33 フィールド までのファイルとなります。

例) IHP_20120731120000.CSV

```
サンプルメニュー,1234567890,,,35AA000017,データ内蔵型タッチスクリーン,1000-earth.jpg,1,...
サンプルメニュー,1234567890,,,35AA000015,データ内蔵型タッチスクリーン,1000-earth.jpg,1,...
:
:
```

先頭行が最新の収集データとなります

「6.1. 収集データリスト」画面から FTP 送信、メール送信を行った場合は、この CSV ファイルを送信します。

FTP 送信の場合は、収集した画像ファイルも送信します。

(*) 収集した画像ファイル名は「yyyymmddhhmmss_nn.jpg」の Jpeg フォーマットとなります。

nn は入力項目の番号になります。入力項目の 3 番目の場合は、「20120731120000_03.jpg」となります。



宛先/Cc/Bcc を入力して送信ボタンを押下することで
メールを送信することができます
件名、本文については自由に編集が行えます

(*) メール送信した場合は、メール本文に収集した画像ファイルの件数が記載されて、CSV ファイルが添付ファイルとなります。

7.2. マスタファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_MASTER.CSV」の CSV フォーマットとなります。

- 1 フィールド : コード (*) 検索キーとなります
- 2 フィールド : 名称
- 3 フィールド : 画像ファイル名 (*) 画像は Jpeg フォーマットとなります

(*) FTP サーバの CSV ファイルと同じディレクトリに画像を保存してください。

7.3. メニューファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_MENU.TXT」となります。

<pre><IHP> サンプルメニュー 3 1 1 1 1 0 0 0 </IHP></pre>	}	<IHP> ~ </IHP> で囲まれた中にメニューのヘッダ部を定義します。 メニュータイトル : 任意 入力項目数 : 1 ~ 10 共通項目数 : 0 ~ 9 マスタ情報を付加 : (0:OFF / 1:ON) 日付を付加 : (0:OFF / 1:ON) 時間を付加 : (0:OFF / 1:ON) 確定時(メール送信) : (0:OFF / 1:ON) 確定時(印刷) : 0 (*) iOS 版は使用しないが記述すること プリフィックスデータ機能 : (0:OFF / 1:ON)
<pre><I01> 棚番 0 0 10 0 0 0 0 </I01> <I02> : </I02> : :</pre>	}	<Inn> ~ </Inn> で囲まれた中にメニューの入力項目部を定義します。 (*) nn は 01 ~ 10 名称 : 任意 種別 : (0:文字 / 1:数字 / 2:カマ) 初期値 : 任意 入力桁数-最小 : 0 ~ 9999 入力桁数-最大 : 0 ~ 9999 抽出桁数-開始 : 最小の値以下 抽出桁数-桁数 : (最小-開始) 以下 マスタ参照 : (0:OFF / 1:ON) マスタ表示時間(秒) : -1 ~ 99 (*) -1 は表示しない、0 は無限

7.4. メール送信フォーマット

収集データを CSV 形式にして添付ファイルで送信します。

入力画面の確定時にメール送信した場合

収集したデータの前に入力項目の名称が記述されます
 収集した画像ファイルは添付されます
 マスタ情報はなければ記述されません
 (*) マスタ情報付加を ON に設定していても
 マスタデータがあれば記述されます
 マスタ画像も添付されます

収集データ詳細画面からメール送信した場合

入力 01～10 までとそれに付随するマスタ情報が記述されます
 収集データが無くても入力項目 10 個とマスタ 2 個ずつが記述されます
 収集した画像ファイル、マスタ画像ファイルが添付されます

宛先/Cc/Bcc を入力して送信ボタンを押下することでメールを送信することができます。
 件名、本文については自由に編集が行えます。

お問合せ窓口

・弊社ホームページ <http://www.e-welcom.com/> 問合せフォームよりお問合せください。
お問合せ内容は、本製品に関することに限らせて頂きます。

・本ソフトウェアの取り扱いについては、お近くの販売店又は弊社までご相談ください。

